

課 名	学校教育課
-----	-------

◆施策の概要

計画体系	施 策 名	施策のテーマ
21	確かな学力と豊かな心を育む教育の推進	好きなまちで子育て《自然増促進》
概 要	基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調和のとれた知・徳・体の教育を推進するため、学習習慣の定着や学習意欲の向上を図り個々の確かな学力を培うとともに、個に応じた教育の推進や特別支援教育の充実を図ります。また、グローバル社会に対応するため英語力の向上に努めます。</li> <li>・自然学校、トライやる・ウィークをはじめ、ふるさと教育等を通じて豊かな体験をさせ、ふるさとを愛する「あさごっこ」を育成していきます。</li> <li>・子どもの学ぶ意欲を大切に、基礎基本の定着を図り、確かな学力の定着を目指します。</li> <li>・基礎的な体力や健康な生活様式を身につける、健康教育の充実を図ります。</li> <li>・家庭生活や学校生活の中で他を思いやり感動したりする、優しく強い心の醸成を図ります。</li> <li>・学校教育の充実のために目標をもち、計画性をもって組織力で取組を強化していきます。</li> </ul>
	現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの学力は、全国平均や全県平均に対してほぼ同じ程度か上回っていますが、今後も一層子どもたちの学力を引き上げる努力が必要である。</li> <li>・外国や異文化理解体験をはじめとして、音楽、芸術、読書活動などの体験活動の場を提供することにより、「こころ」の育成を図り、他を思いやる心や規範意識の高揚を地域・家庭・学校が互いに連携しあいながら育成していく。</li> <li>・減少してきているものの、児童生徒の問題行動や不登校がある。その要因として、家庭の教育力低下や地域との関わりの希薄化等児童生徒を取り巻く環境の変化、及びコミュニケーション能力、対子ども、対教師をはじめとした人間関係づくり等の問題が明らかになった。このほか、個々の発達段階に応じて専門的な関わりを必要とする児童生徒が増加してきている。</li> <li>・飽食、偏食、運動不足などの原因から小学生でも生活習慣病になる時代であり、健康教育、規則正しい生活習慣づくりやバランスのとれた体力づくりの大切さを、家庭や地域に情報発信するとともに、積極的に実践することが必要である。</li> </ul>
主 要 事 務 事 業	事務事業名	
	1	英語指導助手設置事業
	2	小学校特色ある学校づくり事業
	3	中学校特色ある学校づくり事業
	4	小学校学びのサポーター配置事業
	5	中学校学びのサポーター配置事業

◆施策の成果

成果指標	指 標 名 等					25	26	27	28
	1	名称	朝来市が好きだと回答した生徒の割合	目標値		85.0%	実績値	83.2%	85.2%
	算出式等	中3アンケート			達成率	97.9%	100.2%	98.9%	104.1%
2	名称	中学生の不登校生徒出現率	目標値	2.0% (以下)	実績値	2.1%	1.3%	0.9%	0.8%
	算出式等	不登校生徒数÷全生徒数×100			達成率	95.2%	153.8%	222.2%	250.0%
3	名称		目標値		実績値				
	算出式等				達成率				
4	名称		目標値		実績値				
	算出式等				達成率				
5	名称		目標値		実績値				
	算出式等				達成率				

◆市民意識

25		26		27		28	
満足度		満足度		満足度		満足度	上
重要度		重要度		重要度		重要度	上

<コスト配分>

検討項目	施策成果の目標達成状況		未達成		ほぼ達成	○	達成
	意識調査での満足度		平均より下		ほぼ平均	○	平均より上
	コスト配分の方針		重点化		現状維持	○	効率化
成果・課題等	<p>◇各小・中学校で地域の専門家や大学教授等を講師に招聘し、児童生徒に夢を抱かせる特色ある実践事業を展開している。</p> <p>◇支援が必要な児童生徒に対して、学びのサポーターを配置し、学習活動や学校生活が円滑に進むよう支援している。</p> <p>◇その結果として目標値を達成しており、意識調査でも平均を上回っているため、市民の評価を得ていると考える。今後は現状を維持しながらより効率的な事業展開を考えていく必要がある。</p>						

<事業配分>

検討項目	施策の重要性の変化		弱	○	同程度		強
	意識調査での重要度		平均より下		ほぼ平均	○	平均より上
	施策実施方針		拡充	○	現状維持		絞り込み
今後の方針	<p>◇特色ある学校づくり事業は、ふるさとの豊かな自然や伝統文化など朝来を良さを知る事業であり、子どもたちのふるさとを愛する心を醸成する上で有効な事業である。</p> <p>◇今後は、地域の伝統文化やグローバルに活躍する地域人材等との触れ合い等を通じて、より郷土愛を醸成する内容を充実しながら事業を展開できるよう継続して実施していく。</p>						

<1次評価>

検討項目	コスト配分の方針			重点化		現状維持	○	効率化
	施策実施方針			拡充	○	現状維持		絞り込み
実施方針	VI	<p>事業成果がすぐに表れるものではないが、アンケートでは次第に成果が上がっている。今後は事業効果を見極めながら、ふるさと教育に重点を置きつつ継続して実施していくべきである。</p>						

◆総合評価

検討項目	コスト配分の方針			重点化		現状維持	○	効率化
	施策実施方針			拡充	○	現状維持		絞り込み
判断理由	<p>学びのサポーター配置において雇用が恒常化している。必要性の是非を十分検討すべきである。</p>							
実施方針	VI	<p>コストを抑制しつつ成果を維持していく。</p>						

課 名	学校教育課
-----	-------

◆施策の概要

計画体系	施 策 名	施策のテーマ
22	魅力ある教育環境の推進	好きなまちで子育て《自然増促進》
概	基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校施設については、建物・設備について計画的に点検し、改善を行います。</li> <li>・学校の施設整備、管理運営や通学方法など、家庭・地域・学校が一体となって関われる体制の中で意見を求め進めていきます。</li> <li>・教育を取り巻くさまざまな課題に対応するため教職員の指導力の向上を図ります。</li> <li>・「朝来市学校給食施設の在り方に関する方針」を踏まえ、老朽化していた各学校給食センターは、平成27年度に新たな施設として整備し、サービスが始まっています。</li> </ul>
	現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「あさごっ子悩み相談センター」の相談窓口を教育委員会内に開設し、広く悩みや思いを寄せられる体制を整えている。</li> <li>・児童生徒が安全で安心して学習や登下校ができるように学校の施設整備と通学支援に努めている。</li> <li>・小・中学校校舎、屋内運動場の耐震化率は100%となっている。</li> <li>・地元の食材をふんだんに取り入れた給食を提供するとともに、安全・安心な給食サービスを推進していく。</li> <li>・経年劣化に伴う施設の大規模改修工事や学校プールの老朽化への対応など修繕を必要とする施設への対応が生じている。</li> <li>・ICTの活用など時代の流れに沿った教育環境を整備していく必要がある。</li> <li>・少子化に伴い通学方法、学校施設整備、管理運営の検討が必要となっている。</li> <li>・さまざまな特性をもつ児童生徒への支援に力点を置いているが、更にきめ細やかな学習支援や生活支援の充実が求められている。</li> <li>・今日的な教育課題に適切に対応できる教職員を育成するため、より効果的な研修の実施が必要である。</li> </ul>
主な事務事業	事務事業名	
	1	教職員研修事業
	2	小学校教育振興事業
	3	中学校教育振興事業
	4	小学校整備事業
	5	中学校整備事業

◆施策の成果

成果指標	指 標 名 等					25	26	27	28
	1	名称	地域住民として学校教育に関わった市民の割合	目標値		35.0%	実績値	31.3%	28.4%
	算出式等	市民アンケート			達成率	89.4%	81.1%	88.3%	81.4%
2	名称		目標値		実績値				
	算出式等				達成率				
3	名称		目標値		実績値				
	算出式等				達成率				
4	名称		目標値		実績値				
	算出式等				達成率				
5	名称		目標値		実績値				
	算出式等				達成率				

◆市民意識

25		26		27		28	
満足度		満足度		満足度		満足度	上
重要度		重要度		重要度		重要度	上

<コスト配分>

検討項目	施策成果の目標達成状況	○	未達成		ほぼ達成		達成
	意識調査での満足度		平均より下		ほぼ平均	○	平均より上
	コスト配分の方針		重点化	○	現状維持		効率化
成果・課題等	<p>◇学校の教育環境は校舎の耐震化完了と給食センターの整備完了、老朽化した校舎の大規模改造等も概ね完了している。また、不具合箇所の改修等も随時実施している。</p> <p>◇すべての児童生徒にわかりやすく、理解しやすい授業を目指して、授業のユニバーサル化の実践研修など教職員の指導力向上を図っている。</p> <p>◇教育環境としては、概ね整っており、評価を得ていると考えるが、今後は市民の学校との関わりを深め、より地域に根ざした学校づくりが必要と考えられる。</p>						

<事業配分>

検討項目	施策の重要性の変化		弱	○	同程度		強
	意識調査での重要度		平均より下		ほぼ平均	○	平均より上
	施策実施方針		拡充	○	現状維持		絞り込み
今後の方針	<p>◇小中学校整備事業や大規模改造事業では老朽化したプール施設や体育館の改修を中心に環境整備を図っていく必要がある。また、進化の著しいICT環境に対応した教育環境の充実を図る必要がある。</p> <p>◇校務・業務の効率化を図るとともに教職員個々の指導力向上を図る研修を充実する必要がある。</p> <p>◇今後は地域と学校とのつながりを一層高めて、ソフト、ハードの両方で地域が一体となった教育環境づくりを図る必要がある。</p>						

<1次評価>

検討項目	コスト配分の方針		重点化	○	現状維持		効率化
	施策実施方針		拡充	○	現状維持		絞り込み
実施方針	V	教育環境の整備については、より一般市民が関わりやすい体制づくりを検討しながら、コストに配慮し、継続的に実施していく。また、ソフト面では教員の指導力向上を図る研修等を継続的に実施していく。					

◆総合評価

検討項目	コスト配分の方針		重点化		現状維持	○	効率化
	施策実施方針		拡充		現状維持	○	絞り込み
判断理由	コストに関しては、過大投資にならないよう必要最小限で事業に取り組み効率化を図るべきである。施策は、より精度の高い長期計画の策定により成果を維持すべきである。						
実施方針	VI	コストを抑制しつつ成果を維持していく。整備計画の精度を高めてコスト削減に努める。					

課 名	あさご暮らし応援課
-----	-----------

◆施策の概要

計画体系	施 策 名	施策のテーマ
23	出会い応援事業の推進	好きなまちで子育て《自然増促進》
概 要	基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未婚、晩婚、少子化の現状を周知し、出会いから結婚へつなげていくことの重要性を市民にPRしていきます。</li> <li>・婚活事業を実施する団体と連携して、出会い準備セミナーや出会いイベントを実施していきます。</li> <li>・県の出会いサポートセンターと連携し、情報収集と情報発信を行います。</li> </ul>
	現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未婚・晩婚化は、全国的な傾向となっている。</li> <li>・30歳～34歳の未婚率を平成2年度と平成22年度を比較した場合、男性が平成2年度では、27.6%で、平成22年度は、45.5%と上昇している。また、女性は平成2年度では、7.2%だったが平成22年度は29.8%と上昇している。</li> <li>・出会いサポート事業（山東支所事業）を実施するとともに未婚男女交流支援事業によりイベント実施団体を支援している。</li> <li>・結婚が成立した場合、結婚仲人奨励金を交付している。</li> </ul>
主 要 事 業	事務事業名	
	1	出会いサポート事業
	2	
	3	
	4	
	5	

◆施策の成果

成果指標	指 標 名 等					25	26	27	28
	名称	算出式等	実施団体	目標値		実績値	達成率	実績値	達成率
1	名称	出会いイベント事業参加者数	実施団体	目標値 200人	実績値	82人	77人	136人	98人
	算出式等	実施団体調			達成率	41.0%	38.5%	68.0%	49.0%
2	名称	出会いイベントカップル成立数	実施団体	目標値 30組	実績値	13組	13組	24組	9組
	算出式等	実施団体調			達成率	43.3%	43.3%	80.0%	30.0%
3	名称	婚姻数（年間）	市民課調	目標値 200組	実績値	124組	125組	131組	
	算出式等	市民課調			達成率	62.0%	62.5%	65.5%	
4	名称	未婚率（30歳～34歳）男性	国勢調査：配偶関係・年齢5階級（H22）	目標値 40.0% （以下）	実績値	45.5%	45.5%	45.5%	45.5%
	算出式等	国勢調査：配偶関係・年齢5階級（H22）			達成率	87.9%	87.9%	87.9%	87.9%
5	名称	未婚率（30歳～34歳）女性	国勢調査：配偶関係・年齢5階級（H22）	目標値 25.0% （以下）	実績値	29.8%	29.8%	29.8%	29.8%
	算出式等	国勢調査：配偶関係・年齢5階級（H22）			達成率	83.9%	83.9%	83.9%	83.9%

◆市民意識

25		26		27		28	
満足度		満足度		満足度		満足度	上
重要度		重要度		重要度		重要度	中

<コスト配分>

検討項目	施策成果の目標達成状況	○	未達成		ほぼ達成		達成
	意識調査での満足度		平均より下		ほぼ平均	○	平均より上
	コスト配分の方針		重点化	○	現状維持		効率化
成果・課題等	<p>◇イベント参加者数については、各種団体が行うイベントが浸透し参加者数は増えている。                  ◇一方では、団体や市民の一部に盛り上がりを見せているが、まだ全体的には本事業の成果を押し量る時期に到達しておらず、今後の課題として事業の継続性と多方面の団体との協力により事業を推進する。</p>						

<事業配分>

検討項目	施策の重要性の変化		弱		同程度	○	強
	意識調査での重要度		平均より下	○	ほぼ平均		平均より上
	施策実施方針		拡充	○	現状維持		絞り込み
今後の方針	<p>◇人口減少社会を迎えて、本事業の重要性はますます高まっている。                  ◇しかし、本事業の認識や偏見から地域全体での取り組みまで至っておらず、各団体と協力関係を構築しながら事業を推進する必要がある。</p>						

<1次評価>

検討項目	コスト配分の方針		重点化	○	現状維持		効率化
	施策実施方針		拡充	○	現状維持		絞り込み
実施方針	V	<p>比較的成果も上がってきている。今後はコストに配慮しながら効果的な「出会いの場」の提供を中心に現状を維持しながら推進する。</p>					

◆総合評価

検討項目	コスト配分の方針		重点化	○	現状維持		効率化
	施策実施方針		拡充	○	現状維持		絞り込み
判断理由	<p>少子化の抑制と婚活の関連性について市民への理解度を高めるとともに、自治協議会や社会福祉協議会等が行うイベントへも積極的に協力していく。</p>						
実施方針	V	<p>コスト、成果とも現状を維持する。                  他団体の事業との協働により相乗効果を狙う。</p>					

課 名	地域医療・健康課
-----	----------

◆施策の概要

計画体系	施策名	施策のテーマ
24	こころとからだの健康づくりの推進	好きなまちで生涯現役《自然減抑制》
概要	基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民一人ひとりが元気で長生きできるよう「自分の健康は自分でづくり・守る」という健康意識の高揚を図ります。</li> <li>・個人が健康に関する正しい知識をもち、定期的に健診を受け、その健診結果に基づき、食生活の改善や運動習慣を身につけられるよう、がん対策や生活習慣病の対策とこころの健康づくりを推進するとともに、推進するためのマンパワーを確保していきます。</li> <li>・個人の健康づくりを地域全体で支え合い、協働して健康づくりに取り組めるよう環境を整備し、「健康で安心して暮らせるまちづくり」を推進します。</li> <li>・関係機関と連携して、感染症に関する正しい知識の普及や効果的な予防接種事業の推進を図ります。</li> </ul>
	現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内には地域に密着した医療機関が多く、かかりつけ医に相談しやすい環境にあることから、市の健診や健康教育も医療機関と連携して実施している。</li> <li>・がん検診と特定健診の同時実施など市民の利便性を考慮し、受診しやすい健診体制の整備をしている。</li> <li>・市内にある運動施設を活用した教室や調理実習を組み入れた教室を行うなど、実践型の健康づくりへの支援を行っている。</li> <li>・市民の健康への関心は高まっているにもかかわらず、日々の生活における健康づくりの行動に結びついていない一面がある。</li> <li>・朝来市のがん検診受診率および特定健診受診率は、国が目標としている値に達していない状況となっている。</li> <li>・全国と同様に朝来市においても悪性新生物、心疾患、脳血管疾患で死亡する人が全死亡者の約5割を占めている。</li> <li>・自殺者数は、以前に比べると減ってきているものの、県、但馬圏域と比較して自殺率が高い状況にあり、またストレスやこころの病気を抱えるひが増加していることから、自殺予防対策の推進とこころの健康づくりに関する理解を深め対応することが必要となっている。</li> <li>・緊急対応を必要とする感染症の発生や蔓延も懸念されることから、感染症予防に関する的確な情報提供を行うことが求められる。</li> <li>・自殺対策基本法（平成28年4月改正）においては、誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指し、対処していくことが重要な課題となっており、生きることの包括的支援としてすべての人がかけがえのない個人として尊重され、生きがいや希望をもって生きることのできる環境整備を図ることを旨として実施されなければならないこと、また保健、医療、福祉、教育、労働、その他の関連施策との有機的な連携が図られ、総合的に実施されなければならないとされている。</li> <li>・第2次朝来市健康増進計画（後期）・食育推進計画「健康あさご21」（平成27年度策定）に基づき、市民の健康寿命の延伸と生活の質の向上を目指し、生活習慣の改善、生活習慣病等の発症予防と重症化予防の徹底、健全な食生活の推進を目標に健康づくりに取り組んでいく。</li> </ul>
主な事務事業	事務事業名	
	1	健康増進事業
	2	がん検診事業
	3	予防接種事業・結核検診事業
	4	特定健診等事業（市民課）
	5	保健対策推進事業

◆施策の成果

成果指標	指 標 名 等					25	26	27	28
	名称	算出式等	目標値	実績値		達成率	達成率	達成率	達成率
1	名称	特定健診受診率	目標値 60.0%	実績値	35.6%	35.6%	35.0%		
	算出式等	【法定報告数値】受診者数/対象者数×100		達成率	59.3%	59.3%	58.3%		
2	名称	スポーツ（ウォーキング・体操などの運動を含む）を定期的に行っている市民の割合	目標値 50.0%	実績値	36.6%	39.9%	35.5%	39.1%	
	算出式等	市民アンケート		達成率	73.2%	79.8%	71.0%	78.2%	
3	名称	メタボリックシンドローム該当率	目標値 10.0% (以下)	実績値	13.4%	12.8%	13.1%		
	算出式等	【地域医療・健康課統計】メタボリックシンドローム該当者数/受診者数×100		達成率	74.6%	78.1%	76.3%		
4	名称	健康づくりへの支援が充実していると感じている市民の割合	目標値 60.0%	実績値	41.7%	40.2%	38.9%	41.3%	
	算出式等	市民アンケート		達成率	69.5%	67.0%	64.8%	68.8%	
5	名称		目標値	実績値					
	算出式等			達成率					

◆市民意識

25		26		27		28	
満足度		満足度		満足度		満足度	上
重要度		重要度		重要度		重要度	中

<コスト配分>

検討項目	施策成果の目標達成状況	○	未達成	○	ほぼ達成	○	達成
	意識調査での満足度		平均より下	○	ほぼ平均	○	平均より上
	コスト配分の方針		重点化	○	現状維持	○	効率化
成果・課題等	<p>◇各種健診の受診率向上に向け、健診費用補助の拡大や休日健診や市内医療機関との協力による受診機会の拡大、受診勧奨の強化、知識の普及啓発の徹底を積極的に行っているが、受診率は大きく伸びない。</p> <p>◇第2次健康増進計画・食育計画（健康あさご21）のアンケート結果によると定期健診を受けていない人は、20.2%。受診していない理由は、「必要なときは医療機関を受診する」（32.7%）、「めんどうだから」（27.7%）、「忙しいから」（24.8%）、「健診料が高いから」、「健康と思うから」が続いている。また健康づくりへの関心について「特に関心がない」が他の年代に比べて20～40歳男性が多く（20～30%）なっている。女性も20～40歳代が「特に関心がない」人の割合が高くなっている。働く世代に対し、健康づくりの意識向上や健診受診勧奨とあわせ、生活習慣の改善・運動習慣の定着に向けた支援が必要と考える。</p> <p>◇平成27年度疾病分類統計（兵庫県国保統計）では、保険者1人あたりの診療費は26年度と比較して低下しているが、生活習慣病疾病別保険者1人あたりの診療費では、糖尿病が平成26年度から上昇、県平均・但馬圏域と比較しても高い。</p> <p>◇インセンティブ策として健康づくりポイント事業を実施している。平成27年度参加申請率は、対象の6%である。事業参加者の実績、アンケート結果では、60歳・70歳代の参加は多く、若い世代の参加が少ない。また参加時から意識の高い人が多い状況にある。意識の低い人、若い世代をいかに健康づくりに結びつけるか、周知方法・働きかけ、内容の検討を行っていく必要がある。</p> <p>◇予防接種については、新たに定期接種に導入される種類があるため、対象者が接種機会を逃すことなく、適切に受けることができるよう、周知・勧奨を行っていく必要がある。</p> <p>◇市の自殺者数はここ数年減少しているものの自殺率はまだ県の平均、但馬圏域に比べ高い状況にある。ただし、自殺率は、自死者1人の増減により、指標が大きく変化するため、その項目だけをみて対策の評価はできない。数年の経過や自殺対策の各取り組みによる評価もあわせて行っていく必要がある。また自殺は、社会的要因を含め、家族関係、経済・健康問題などさまざまな要因が関係している。今後も市内、関係機関と連携を図り、地域における自殺対策を推進する必要がある。</p>						

<事業配分>

検討項目	施策の重要性の変化		弱	○	同程度		強
	意識調査での重要度		平均より下	○	ほぼ平均	○	平均より上
	施策実施方針		拡充	○	現状維持	○	絞り込み
今後の方針	<p>◇がんや生活習慣病予防など市民が適切な食生活・適切な運動・禁煙等、健康づくりへの意識の向上や健康的な生活習慣の定着、改善が実践していけるよう普及啓発を強化し、充実させる。特に健康への無関心層に対しては、普及啓発も含め、インセンティブによる健康づくりも継続する。</p> <p>◇受診率向上に向けて「受診環境の整備」「対象者への働きかけ」「未受診者への受診勧奨」「地域・関係機関との連携」等継続して行い、健診の普及啓発により受診者増を図る。</p> <p>◇市民の健康を守るだけでなく、市民の医療費の削減に向けて健診結果に着目して保健事業展開を検討、実施する。</p> <p>◇健康づくりポイント事業の事業検討を行う。職域、事業所などにも働きかけ、若い世代の参加を促すとともに周知・広報の強化を行う。</p> <p>◇予防接種については、個別通知に加え、乳幼児健診や各種教室等児にかかわる機会を通じ、接種歴の確認を行い、必要な者に対しては接種勧奨を個別に行っていく。予防接種法の改正により、平成28年10月からB型肝炎の予防接種が開始となる。感染症予防や予防接種に関する正しい知識・情報の普及・啓発を進めていく。</p> <p>◇平成28年4月の自殺対策基本法の改正により、自殺予防週間・自殺対策強化月間の啓発活動の展開、関係者の連携協力を法律上規定された。また市町村は、自殺対策大綱及び都道府県自殺対策計画並びに地域の実情を勘案して、市町村自殺対策計画を定めるものとされている。引き続き、医療機関や関係機関、市役所内各課との連携を図り、予防対策や支援体制の充実を図るとともに、ゲートキーパーの養成や相談支援体制を強化するとともに地域の実情を把握し、自殺対策計画を策定する。</p>						

<1次評価>

検討項目	コスト配分の方針		重点化	○	現状維持		効率化
	実施方針	V	成果は、達成できていないが、市民の健康長寿の延伸と医療費の抑制・自然減の抑制のためには必要な事業である。また健康増進法・高齢者の医療の確保に関する法律・自殺対策基本法・予防接種法等に基づき、また健康増進・食育推進計画（健康あさご21）の目標に向かって事業を実施していく必要があり、今後も現在の事業をふまえ、地域課題に着目しながら検討・強化しながら継続実施する。	重点化	○	現状維持	○
			拡充	○	現状維持	○	絞り込み

◆総合評価

検討項目	コスト配分の方針		重点化	○	現状維持		効率化
	判断理由	V	高齢化社会の進展の中で、こころとからだの健康づくりの推進は市民にとって重要な施策である。啓発を含む地道な努力で成果を上げている。	重点化	○	現状維持	○
実施方針	V	コスト、成果とも現状を維持する。「健康あさご21」に基づき施策を実施していく。	拡充	○	現状維持	○	絞り込み



課 名	高年福祉課
-----	-------

◆施策の概要

計画体系	施 策 名	施策のテーマ
25	豊かな高齢社会の創出	好きなまちで生涯現役《自然減抑制》
概 要	基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括支援センターを拠点として、地域住民と保健、福祉・医療機関などとの相互連携による地域包括ケアの提供に努めます。</li> <li>・介護予防に関する知識の普及啓発や地域活動組織の育成・支援、介護予防教室などを通じ、介護予防を支援します。</li> <li>・介護保険サービスの提供や外出支援サービスなど、高齢者が地域で自立した生活を送るための支援を行うとともに、緊急通報システム事業等により高齢者の日常生活の安全・安心の確保に努めます。</li> <li>・虐待や権利の侵害から高齢者を守ります。</li> <li>・高齢者が気軽に集い、交流できる環境づくりに努め、高齢者の生きがいをづくりを支援します。</li> <li>・適切な介護サービスが受けられるよう制度の周知をはじめ、ケアマネジメントを強化し、サービスの充実を図ります。</li> </ul>
	現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護が必要な状態となっても尊厳のある自立した生活ができるための介護サービス基盤の整備は、県内でも充実している。</li> <li>・介護状態に陥ることを予防するため、各種の介護予防事業を行っている。</li> <li>・平成27年度の制度改正により特養の入所は原則要介護3以上の方となったが、特養への入所を待っている施設申込者があり、中でも寝たきり等の在宅者で介護サービスを受けながら入所を待っている方の対策が必要である。</li> <li>・外出支援サービスは通院目的に限定しているが、所得に応じた助成で県内でも手厚い支援となっている。</li> <li>・認知症高齢者が増加し、今後もこの傾向は顕著となるため、地域での支えあい、見守りなどの対策が急務となっている。</li> <li>・老人クラブが毎年2、3クラブ休止となっており、高齢者の生きがいをづくりの組織が弱体化している。</li> <li>・高齢となっても住み慣れた地域でいきいきと生活できるよう、いつまでも健康で介護が必要な状態にならないことが大きな課題となっている。</li> <li>・高齢者の増加による介護保険サービスの利用増や介護保険法の改正による制度変更への対応のために今後ますますマンパワーが必要になると考えられる。</li> </ul>
主 要 事 務 事 業	事務事業名	
	1	老人保護措置事業
	2	外出支援サービス事業
	3	高齢者等緊急通報事業
	4	シルバー人材センター支援事業
	5	老人クラブ支援事業

◆施策の成果

成果指標	指 標 名 等					25	26	27	28
	名称	算出式等	目標値	実績値		達成率	達成率	達成率	達成率
1	名称	元気高齢者の割合	目標値	80%	実績値	77.9%	77.6%	77.0%	
	算出式等	$(\text{高齢者人口} - \text{高齢者の要介護認定者数}) \div \text{高齢者人口}$			達成率	97.3%	97.0%	96.3%	
2	名称	介護認定軽度者の割合	目標値	60%	実績値	58.1%	58.6%	61.2%	
	算出式等	$\text{高齢者の要介護軽度認定者数} \div \text{高齢者の要介護認定者数}$			達成率	96.8%	97.7%	102.0%	
3	名称	地域ミニデイ事業実施地区数	目標値	80地区	実績値	69地区	81地区	81地区	86地区
	算出式等	社会福祉協議会統計			達成率	86.3%	101.3%	101.3%	107.5%
4	名称	シルバー人材センター会員数	目標値	500人	実績値	472人	463人	460人	
	算出式等	シルバー人材センター統計			達成率	94.4%	92.6%	92.0%	
5	名称		目標値		実績値				
	算出式等				達成率				

◆市民意識

25		26		27		28	
満足度		満足度		満足度		満足度	上
重要度		重要度		重要度		重要度	上

<コスト配分>

検討項目	施策成果の目標達成状況		未達成	○	ほぼ達成		達成
	意識調査での満足度		平均より下		ほぼ平均	○	平均より上
	コスト配分の方針		重点化	○	現状維持		効率化
成果・課題等	<p>◇平成27年3月に平成27年度から平成29年度までの高齢者保健福祉計画及び第6期介護保険事業計画を策定した。「高齢者が生きがいを持って、安心・安全に自分らしく生活できるまちづくり」を基本理念としている。</p> <p>◇目標値もほぼ達成できており、満足度においても平均より上の評価となっている。</p> <p>◇今後高齢者人口は、大幅な増加はないものの、75歳以上の後期高齢者の増加が予測されることや若い世代の人口が減少していくことから、要支援高齢者への予防的介入が必要である。</p> <p>◇支援が必要な高齢者を支えている介護職員や相談支援職員などのマンパワーが不足している。</p>						

<事業配分>

検討項目	施策の重要性の変化		弱		同程度	○	強
	意識調査での重要度		平均より下		ほぼ平均	○	平均より上
	施策実施方針	○	拡充		現状維持		絞り込み
今後の方針	<p>◇平成27年の介護保険法の改正により介護予防・日常生活支援総合事業の取組みが市町村に課せられ、朝来市では平成29年4月から実施する。</p> <p>◇市民の意識調査においても、介護、福祉サービスの重要度は非常に高いことから、ボランティア団体等との連携もますます必要になってくるため、それに沿って市で実施する事業の増加や人材の確保も必要である。</p> <p>◇要介護状態を未然に防ぐ介護予防事業や認知症対策総合事業の円滑な運営が期待されている。</p>						

<1次評価>

検討項目	コスト配分の方針		重点化	○	現状維持		効率化
	施策実施方針	○	拡充		現状維持		絞り込み
実施方針	Ⅱ	<p>高齢者全体の福祉サービス及び介護予防事業について、より一層の充実を図りつつ、介護保険サービスの適切な提供と総合事業への円滑な移行を目指す。</p>					

◆総合評価

検討項目	コスト配分の方針		重点化	○	現状維持		効率化
	施策実施方針	○	拡充		現状維持		絞り込み
判断理由	<p>高齢者全体の福祉サービス及び介護予防事業については、後期高齢者の増加が予測される中、一層の充実を図り、介護保険サービスの適切な提供と総合事業との円滑な運営が必要のため。</p>						
実施方針	Ⅱ	<p>コストを維持しつつ成果を上げていく。 介護予防・日常生活支援総合事業を進めて成果の向上を図る。</p>					

課 名	社会福祉課
-----	-------

◆施策の概要

計画体系	施 策 名	施策のテーマ
26	障害のある人の自立支援の充実	好きなまちで生涯現役《自然減抑制》
概 要	基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害のある人が、自らの能力を最大限に発揮し、地域の中で自立して生きることができるよう支援していきます。</li> <li>・ 障害のある人及び保護者からの相談に応じることができるよう、相談支援体制を強化するとともに広報や啓発活動を推進し、障害福祉サービスの利用促進を図ります。</li> <li>・ 障害のある人の社会参加の促進を図るため、手話通訳者等の意思疎通支援を行う人材の養成や、交通手段の確保等支援体制を充実します。</li> <li>・ 障害者就労支援施設等へ優先的な業務・物品の発注により工賃向上を図り、経済面の自立を進め、障害のある人に対する就労支援を推進していきます。</li> <li>・ 労働行政機関と特別支援教育機関との連携を図り、障害者の就労環境の整備・改善について、企業に働きかけるなど就労への支援を充実します。</li> </ul>
	現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 南但馬自立支援協議会において、障害者計画・障害者福祉計画の検証、課題の抽出などを行い、市へ施策提言を行っている。</li> <li>・ 障害のある人や保護者が相談できる相談体制及び障害福祉サービスの充実が徐々に図られつつある。</li> <li>・ 障害福祉サービス事業者が少なく、障害のある人又は保護者の多種多様なニーズに対応しきれていない状況にある。</li> <li>・ 障害のある人の自立意識の高まりやライフスタイルの多様化が進み、就労や社会参加など積極的な生き方を求める傾向が強まっている。</li> <li>・ 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）が平成28年4月から施行され、この法律の趣旨にのっとり、障害を理由とする差別の解消の推進に関して必要な施策を策定し実施する等対応が必要である。</li> </ul>
主 要 事 務 事 業	事務事業名	
	1	障害者自立支援給付事業
	2	障害児福祉サービス給付事業
	3	障害者（児）地域生活支援事業
	4	重度障害者（児）医療費助成事業
	5	高齢重度障害者医療費助成事業

◆施策の成果

成果指標	指 標 名 等					25	26	27	28
	名称	算出式等	目標値	実績値		達成率	達成率	達成率	達成率
1	名称	障害福祉サービス利用申請者数	目標値	374人	実績値	302人	312人	357人	
	算出式等	社会福祉課調			達成率	80.7%	83.4%	95.5%	
2	名称	障害福祉サービス利用率	目標値	15.9%	実績値	14.6%	15.6%	17.9%	
	算出式等	社会福祉課調 給付管理におけるサービス利用者の実績数/手帳保持者数			達成率	91.8%	98.3%	112.5%	
3	名称		目標値		実績値				
	算出式等				達成率				
4	名称		目標値		実績値				
	算出式等				達成率				
5	名称		目標値		実績値				
	算出式等				達成率				

◆市民意識

25		26		27		28	
満足度		満足度		満足度		満足度	上
重要度		重要度		重要度		重要度	上

<コスト配分>

検討項目	施策成果の目標達成状況		未達成	○	ほぼ達成		達成
	意識調査での満足度		平均より下		ほぼ平均	○	平均より上
	コスト配分の方針		重点化	○	現状維持		効率化
成果・課題等	<p>◇在宅及び施設の障害者（児）に対して、居宅介護や生活介護、施設入所支援等の障害福祉サービスを支給決定することで、障害者（児）が自立した生活を送るための支援をした。</p> <p>◇その結果としてほぼ目標値も達成している。また、意識調査でも平均より上と評価を得ているものとする。今後の課題として、多様なニーズに対応できる体制の整備が考えられる。</p>						

<事業配分>

検討項目	施策の重要性の変化		弱		同程度	○	強
	意識調査での重要度		平均より下		ほぼ平均	○	平均より上
	施策実施方針	○	拡充		現状維持		絞り込み
今後の方針	<p>◇就労や社会参加など積極的な生き方を求める傾向が強まっており、障害福祉サービスの重要性も高いものとなっている。障害のある人が住み慣れた地域の中で安心して自立した生活ができるよう、今後も相談支援体制等を強化し支援していく。</p> <p>◇また、平成28年4月から差別解消法が施行され、制度的な重要性が高まっており、今後は普及啓発や地域との連携を強化しながら支援を進めていく。</p>						

<1次評価>

検討項目	コスト配分の方針			重点化	○	現状維持		効率化
	施策実施方針		○	拡充		現状維持		絞り込み
実施方針	Ⅱ	コストは現状維持し、成果を向上させるべく、多様なニーズに対応できる体制の整備を今後も進めていく。						

◆総合評価

検討項目	コスト配分の方針			重点化	○	現状維持		効率化
	施策実施方針		○	拡充		現状維持		絞り込み
判断理由	平成28年4月から障害者差別解消法が施行される中、障害福祉サービスは今後ますます重要性が増してくる。							
実施方針	Ⅱ	コストは現状を維持しつつ成果を上げていく。普及啓発と地域との連携を強化しながら成果の向上を図る。						

課 名	地域医療・健康課
-----	----------

◆施策の概要

計画体系	施 策 名	施策のテーマ
27	安心できる地域医療体制の充実	好きなまちで生涯現役《自然減抑制》
概 要	基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝来市医師会、公立朝来医療センターと行政が一体となって地域医療体制を整え、市民の安心で安全な暮らしを支援します。</li> <li>・公立豊岡病院組合と連携して医師を確保し、二次医療、二次救急体制の充実を目指します。</li> <li>・「かかりつけ医」制度の普及啓発を図り、健康に対する意識の高揚への取り組みをすすめます。</li> </ul>
	現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開業医による診療体制としては、内科・小児科・消化器系を中心に、それ以外にも幅広い診療科目の医療サービスが提供されている。また、開業医の多くは、かかりつけ医として市民の保健医療を提供している。</li> <li>・ドクターヘリやドクターカーにより傷病者の救命率の向上と患者の後遺症の軽減が図られている。</li> <li>・「あさご健康医療電話相談ダイヤル24」等による24時間年中無休の電話相談事業を展開している。</li> <li>・市内に分娩を取り扱う医療機関がなく、また但馬地域の3病院においても産婦人科医師が年々減少しているため、身近な地域で安心して出産ができる産婦人科医療を確保することが課題となっている。</li> </ul>
主 な 事 務 事 業	事務事業名	
	1	地域医療対策推進事業
	2	ドクターカー運行事業
	3	医師修学資金貸付事業
	4	
	5	

◆施策の成果

成果指標	指 標 名 等					25	26	27	28	
	1	名称	市内公立病院医師数	目標値		14人	実績値	7人	9人	9人
	算出式等	市内公立病院の常勤医師数			達成率	50.0%	64.3%	64.2%	57.1%	
2	名称	病気にかかった時や体調が悪い時にいつも診察を受ける、かかりつけ医をもっている市民の割合		目標値	85.0%	実績値	79.9%	79.6%	78.7%	76.0%
	算出式等	市民アンケート			達成率	94.0%	93.6%	92.6%	89.4%	
3	名称			目標値		実績値				
	算出式等					達成率				
4	名称			目標値		実績値				
	算出式等					達成率				
5	名称			目標値		実績値				
	算出式等					達成率				

◆市民意識

25		26		27		28	
満足度		満足度		満足度		満足度	上
重要度		重要度		重要度		重要度	上

<コスト配分>

検討項目	施策成果の目標達成状況	○	未達成		ほぼ達成		達成
	意識調査での満足度		平均より下		ほぼ平均	○	平均より上
	コスト配分の方針		重点化	○	現状維持		効率化
成果・課題等	<p>◇市民へ病院(医療センター)と開業医の診療の役割等と、医療機関への受診方法を周知し、医療機関を適正利用するように体制整備の強化を図る必要がある。</p> <p>◇かかりつけ医を持っている人の割合が30歳代で64.23%、20歳代が70.54%となっており他の年代より低いため、かかりつけ医をもつように啓発が必要。</p> <p>◇朝来医療センターと市内開業医との連携会議の開催により、相互の状況把握ができ診療の連携・調整が更に容易になったと考えられるため、定期開催に向け調整を行う。</p> <p>◇医師の負担軽減を図る一要因として、「あさご健康医療電話相談ダイヤル24」の利用促進に向けて周知啓発の継続と、小児救急巡回セミナーの再開に向けて検討が必要。</p>						

<事業配分>

検討項目	施策の重要性の変化		弱	○	同程度		強
	意識調査での重要度		平均より下		ほぼ平均	○	平均より上
	施策実施方針		拡充	○	現状維持		絞り込み
今後の方針	<p>◇医師確保の為に、今後も豊岡病院組合や朝来市医師会等との連携を密にしながら招聘活動を継続する。</p> <p>◇医療センターと医師会との連携会議の開催等、医療体制の充実に努める。</p> <p>◇医療センターの医師の目標人数確保と医療の充実のために、就業支度金貸与と就労支援対策交付金制度を継続実施していく。</p> <p>◇「あさご健康医療電話相談ダイヤル24」の利用促進に向けて周知啓発を強化する。</p> <p>◇小児救急巡回セミナーを実施していく。</p>						

<1次評価>

検討項目	コスト配分の方針		重点化	○	現状維持		効率化
		施策実施方針		拡充	○	現状維持	
実施方針	V	<p>成果は達成はできていないが、医師の確保と安心して医療を受けることができるよう医療体制の充実に図るために、市民へ受診方法やかかりつけ医をもつ等の周知・啓発を行ったり、関係機関と連携をしながら現事業を継続実施をする必要がある。</p>					

◆総合評価

検討項目	コスト配分の方針		重点化	○	現状維持		効率化
		施策実施方針		拡充	○	現状維持	
判断理由	<p>コストを問う施策ではない。市民と医師、医療機関との信頼関係といったものが重要になってくる。</p>						
実施方針	V	<p>コスト、成果とも現状を維持していく。 医師、医師会、朝来医療センターとのより緊密な連携を図っていく。</p>					

課 名	社会福祉課
-----	-------

◆施策の概要

計画体系	施 策 名	施策のテーマ
28	みんなで支える地域福祉の推進	好きなまちで生涯現役《自然減抑制》
概	基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住み慣れた地域で一人ひとりが互いに支え合い、誰もが安心して暮らせる地域社会の構築を目指します。</li> <li>・ 市民の福祉意識の醸成と高揚を図るため、情報提供、啓発活動を行います。</li> <li>・ 生活を支える社会保障制度の適正な実施を図ります。</li> <li>・ 地域自治協議会等との連携や協働により、地域で種々の講習会や集会を開催し、福祉の担い手の育成やボランティアの養成を図ります。</li> <li>・ 日常生活の支えとなる社会福祉団体を支援します。</li> </ul>
	現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 少子高齢化や核家族化などにより、地域福祉を取り巻く環境が大きく変化し、地域社会のつながりが薄らぎ、地域の福祉力が低下している。</li> <li>・ ボランティア活動への支援は朝来市社会福祉協議会が中心となって取り組んでいる。</li> <li>・ 地域、学校、職域などそれぞれの特性に応じたボランティア活動を活性化するために、ボランティア育成への取り組みが必要である。</li> <li>・ 少子高齢化や経済不安が進行する中、誰もが安心して、自立した生活を送るための大きな支えとして、国民健康保険制度や国民年金制度など社会保障制度の果たす役割はますます重要となっている。</li> <li>・ 地域福祉の中核的な役割を担っている民生委員・児童委員や、社会福祉協議会などの関係機関への支援が必要です。</li> </ul>
主 な 事 務 事 業	事務事業名	
	1	児童扶養手当給付事業
	2	社会福祉協議会支援事業
	3	民生委員活動事業
	4	
	5	

◆施策の成果

成果指標	指 標 名 等					25	26	27	28
	名称	算出式等	目標値	実績値		達成率	実績値	達成率	実績値
1	名称	この1年間で、何らかのボランティア活動を行った市民の割合	目標値	50.0%	実績値	39.5%	34.9%	35.2%	29.7%
	算出式等	市民アンケート			達成率	79.0%	69.8%	70.4%	59.4%
2	名称	ボランティア登録グループ数	目標値	200団体	実績値	188団体	190団体	173団体	
	算出式等	社会福祉協議会の把握数			達成率	94.0%	95.0%	86.5%	
3	名称	ボランティア登録者数	目標値	3,000人	実績値	2,740人	2,808人	2,416人	
	算出式等	社会福祉協議会の把握数			達成率	91.3%	93.6%	80.5%	
4	名称	民生委員・児童委員、福祉委員、活動報告数	目標値	5,400件	実績値	6,341件	5,289件	5,284件	
	算出式等	社会福祉課調			達成率	117.4%	97.9%	97.9%	
5	名称		目標値		実績値				
	算出式等			達成率					

◆市民意識

25		26		27		28	
満足度		満足度		満足度		満足度	上
重要度		重要度		重要度		重要度	中

<コスト配分>

検討項目	施策成果の目標達成状況	○	未達成		ほぼ達成		達成
	意識調査での満足度		平均より下		ほぼ平均	○	平均より上
	コスト配分の方針		重点化	○	現状維持		効率化
成果・課題等	<p>◇若年層のボランティア活動への関わりが低い。これは様々な活動が十分に周知できていないことが考えられる。</p> <p>◇今後は、人口減少も見据えながら、誰もが気軽に参加できるボランティア活動等の周知及び取り組みの増加に向けた対策が必要である。</p>						

<事業配分>

検討項目	施策の重要性の変化		弱	○	同程度		強
	意識調査での重要度		平均より下	○	ほぼ平均		平均より上
	施策実施方針		拡充	○	現状維持		絞り込み
今後の方針	<p>◇若年層のボランティア活動への関わりが低いので、活動を知ってもらうための活動が必要である。</p> <p>◇今後の少子高齢化に備え、一人ひとりが関心を持ち、地域全体で支える福祉を構築するため、啓発活動や社会福祉協議会とも連携を密にし、施策実現を図る。</p>						

<1次評価>

検討項目	コスト配分の方針		重点化	○	現状維持		効率化
	施策実施方針		拡充	○	現状維持		絞り込み
実施方針	V	<p>意識調査での満足度、重要度も平均より上となっている。朝来市社会福祉協議会と連携を図りながら、必要としている方に必要な支援が届くよう誰もが安心して暮らせる地域福祉を目指す。</p>					

◆総合評価

検討項目	コスト配分の方針		重点化	○	現状維持		効率化
	施策実施方針		拡充	○	現状維持		絞り込み
判断理由	<p>少子化で若年層の人口が先細りである中、ボランティア活動等の現状維持を図ることが必要になってくる。</p>						
実施方針	V	<p>コスト、成果とも現状を維持していく。 社会福祉協議会とのより密接な連携を図っていく。</p>					



課 名	ケーブルテレビセンター
-----	-------------

◆施策の概要

計画体系	施策名	施策のテーマ
29	広報広聴等の充実による情報発信	市民自治のまちづくりに向けた地域協働体制の確立《実現の方策》
概要	基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・光ケーブルを活用し、教育・福祉・産業・観光等の事業や地域の活性化、若者の定住促進等につなげていきます。</li> <li>・市民の意向を把握するためまちづくりフォーラムやふれあい市長室等を継続して開催します。</li> <li>・重要施策にあたっては、パブリックコメントや市民アンケートを実施するなど多様な方法で市民意向を把握します。</li> <li>・情報を効果的に発信するため、広報誌、ホームページ、ケーブルテレビ自主放送の充実やソーシャルメディアを活用します。</li> <li>・市政の透明性と市民との信頼関係を確保するため個人情報に十分に配慮しながら、適正な情報公開に努めます。</li> <li>・ケーブルテレビ放送事業の運営については、民間委託等の検討を行います。</li> </ul>
	現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近年、インターネットなどの情報通信手段が発達しているが、市内には高齢者も多いことから、引き続き広報誌やケーブルテレビ自主放送などによる情報発信が必要である。</li> <li>・市民の市政参加を進め、市政の透明性と市民との信頼関係を確保するために積極的な情報発信に努めている。</li> <li>・ケーブルテレビ光ファイバー化事業については、平成27年度に整備が完了し、テレビ放送サービスの安定供給やインターネットの超高速・大容量化などに対応した。</li> <li>・市民の意向を把握するため、まちづくりフォーラムやふれあい市長室などを開催し、市民の意見を聴取し、市政への反映に努めている。</li> </ul>
主な 事務 事業	事務事業名	
	1	広報広聴事業
	2	情報公開・個人情報保護事業
	3	ケーブルテレビ運営管理事業
	4	ケーブルテレビ施設整備事業
5		

◆施策の成果

成果指標	指 標 名 等					25	26	27	28
	名称	算出式等	目標値	実績値		達成率	達成率	達成率	達成率
1	名称	ケーブルテレビ加入率（住居分）	目標値	90.0%	実績値	90.4%	91.4%	92.5%	
	算出式等	住民基本台帳世帯にしめる加入世帯数（住居分）			達成率	100.4%	101.6%	102.8%	
2	名称	ケーブルテレビ自主放送が役に立っていると感じる割合	目標値	50.0%	実績値	36.9%	35.4%	34.6%	35.0%
	算出式等	市民アンケート			達成率	73.8%	70.8%	69.2%	70.0%
3	名称	情報・通信施設の整備が進んでいると感じる市民の割合	目標値	50.0%	実績値	30.7%	30.8%	31.4%	32.0%
	算出式等	市民アンケート			達成率	61.4%	61.6%	62.8%	64.0%
4	名称	市ホームページのアクセス数	目標値	5,000,000件	実績値	9,341,466	8,906,336	6,982,558	
	算出式等	ホームページの年間アクセス数			達成率	186.8%	178.1%	139.7%	
5	名称		目標値		実績値				
	算出式等				達成率				

◆市民意識

25		26		27		28	
満足度		満足度		満足度		満足度	上
重要度		重要度		重要度		重要度	中

<コスト配分>

検討項目	施策成果の目標達成状況	○	未達成		ほぼ達成		達成
	意識調査での満足度		平均より下		ほぼ平均	○	平均より上
	コスト配分の方針		重点化	○	現状維持		効率化
成果・課題等	<p>◇平成24年度～27年度にかけて老朽化したケーブルテレビの設備や伝送路を光ファイバー方式に更新を行い、テレビサービスの安定供給と、インターネットの超高速・大容量化を実現したことにより、加入率が目標を達成した。</p> <p>◇「ケーブルテレビ自主放送が役に立っていると感じる割合」と「情報・通信施設の整備が進んでいると感じる市民の割合」が目標を達成できなかった。自主放送については、年代別に見ると10・20・30代が役に立っていると感じる割合が低いという結果が出ている。また情報・通信の整備に関しても、10・20・30代の満足度が低いことが今後の課題といえる。</p> <p>◇市ホームページアクセス数は目標を大きく上回っており、情報発信に一定の成果が得られた。</p>						

<事業配分>

検討項目	施策の重要性の変化		弱	○	同程度		強
	意識調査での重要度		平均より下	○	ほぼ平均		平均より上
	施策実施方針		拡充	○	現状維持		絞り込み
今後の方針	<p>◇広報広聴事業では、広報誌や市ホームページ、ソーシャルメディア等を活用し、引き続き積極的な情報発信に努める。</p> <p>◇情報公開・個人情報保護事業では、市政の透明性と市民との信頼関係を確保するため個人情報に十分に配慮しながら今後も適正な情報公開に努める。</p> <p>◇ケーブルテレビ事業については、10・20・30代の役に立っていると感じる割合を伸ばすため、若い年代が求めている番組の企画、制作に取り組む。また情報・通信の整備が進んでいると感じる割合に関しては、光ケーブルの利活用を通じて、10・20・30代の満足度を上げる取り組みを進める。</p>						

<1次評価>

検討項目	コスト配分の方針		重点化	○	現状維持		効率化
	施策実施方針		拡充	○	現状維持		絞り込み
実施方針	V	<p>今後も市民の意向を把握し、積極的な情報発信、適正な情報公開に努めるとともに、ケーブルテレビについては、コストに配慮しながら、施設の維持管理や情報提供の充実を図っていく。</p>					

◆総合評価

検討項目	コスト配分の方針		重点化		現状維持	○	効率化
	施策実施方針	○	拡充		現状維持		絞り込み
判断理由	<p>市民との信頼関係を醸成するためには、広報広聴の充実を図り、あらゆる手段によって情報発信していく必要がある。SNSなどを活用しながら、効率的、効果的な情報発信を行うとともに、ケーブルについては民間委託等を進めていく必要がある。</p>						
実施方針	Ⅲ	<p>コストを抑制しながら成果を上げる広報広聴の充実強化に取り組んでいく。</p>					

課 名	総合政策課
-----	-------

◆施策の概要

計画体系	施策名	施策のテーマ
30	市民と行政の役割を見直す組織機構等の最適化	市民自治のまちづくりに向けた地域協働体制の確立《実現の方策》
概 要	基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>市の事務事業のうち地域で担う方が効果的・効率的な事業を協働化対象事業として抽出し、委託等を含め協働を進めていきます。</li> <li>地域自治協議会をはじめ、自治会、NPO、市民活動団体、企業と行政が相互に対等の関係でそれぞれの特徴を活かしながら連携・協力し、役割を担いあい、より大きな公共的成果を生み出せるよう推進していきます。</li> </ul>
	現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>少子高齢化、人口減少、生活の利便性の確保等地域課題に関するニーズも多様になっており、これらの課題に行政だけでは対応できなくなっている。</li> <li>地域協働の基盤として地域における公共的団体である地域自治協議会をはじめ、自治会、NPO、市民活動団体等がそれぞれの課題に応じて活動している。</li> <li>市民が地域自治協議会など市民活動を通して地域協働の意義を認識するとともに、自治意識の高揚が図られつつある。</li> <li>市内における地域分権が進み、市民ニーズに対応したきめ細やかな公共的サービスが展開されつつある。</li> </ul>
主 要 事 務 事 業	事務事業名	
	1	地域協働推進事業
	2	
	3	
	4	
	5	

◆施策の成果

成果指標	指 標 名 等				実績値	25	26	27	28
	名称	地域協働事業数	目標値	8事業					
1	名称	地域協働事業数	目標値	8事業	実績値	4事業	5事業	5事業	5事業
	算出式等	地域自治協議会への権限の移譲事業数			達成率	50.0%	62.5%	62.5%	62.5%
2	名称	地域協働事業数	目標値	8事業	実績値	7事業	8事業	8事業	8事業
	算出式等	公共施設等委託等地域自治協議会への委託数			達成率	87.5%	100.0%	100.0%	100.0%
3	名称		目標値		実績値				
	算出式等				達成率				
4	名称		目標値		実績値				
	算出式等				達成率				
5	名称		目標値		実績値				
	算出式等				達成率				

◆市民意識

25		26		27		28	
満足度		満足度		満足度		満足度	中
重要度		重要度		重要度		重要度	中

<コスト配分>

検討項目	施策成果の目標達成状況	○	未達成		ほぼ達成		達成
	意識調査での満足度		平均より下	○	ほぼ平均		平均より上
	コスト配分の方針		重点化	○	現状維持		効率化
成果・課題等	<p>◇第3次分権型社会システム検討懇話会の報告に基づく地域協働アクションプランに沿って、行政と市民との役割分担を整理しながら、地域協働を進めてきた。</p> <p>◇地域自治協議会への権限の委譲（地域環境保全事業や交通安全推進事業など）や公共施設等の委託業務（公民館や公衆トイレの管理）の数も増えてきた。</p> <p>◇職員数の減少や事務量の増加により行政だけでは対応できないことが予測されるので、地域自治協議会との協働によるまちづくりをしなければいけない。（地域でも人材不足が課題となりつつある。）</p>						

<事業配分>

検討項目	施策の重要性の変化		弱		同程度	○	強
	意識調査での重要度		平均より下	○	ほぼ平均		平均より上
	施策実施方針		拡充	○	現状維持		絞り込み
今後の方針	<p>◇人口減少により地域においても人材が不足する場合は地域おこし協力隊の制度を導入し地域の活性化を図る。</p> <p>◇地域おこし協力隊が地域自治協議会等と連携を図り、地域課題の解決に向けた活動をすすめながら、朝来市に定住できるような支援を構築していく。</p> <p>◇地域協働のまちづくりを進めるうえで、分権型社会への実践を行う時期に来ている。行政と地域の役割を整理し、自律した地域自治の運営を目指す。</p> <p>◇市民アンケート結果では今後の重要度は低いので、一層のPRに努め、地域協働によるまちづくりを推進する。</p>						

<1次評価>

検討項目	コスト配分の方針		重点化	○	現状維持		効率化
	施策実施方針		拡充	○	現状維持		絞り込み
実施方針	V	今後、行革を進めていくうえでも、行政と市民との役割分担を整理しながら、地域自治協議会への権限移譲や業務委託など地域協働を進めていく。					

◆総合評価

検討項目	コスト配分の方針		重点化	○	現状維持		効率化
	施策実施方針		拡充	○	現状維持		絞り込み
判断理由	人口減少等が進む中、市民・地域と行政が連携・協力し、地域を維持し、よりよい公共的成果につなげていく。コストに配慮しつつ、成果を向上させていく。						
実施方針	II	コストは現状を維持しつつ、成果を向上させていく。					